



2107

使用説明書

(使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。)

2017年2月改訂

動物用医薬品

貯法：遮光して10℃以下

有効期間：製造後2年3か月間

動物用生物学的製剤

劇薬 指定医薬品

承認指令書番号

24 動薬第 2333 号

販売開始

1984年3月

日生研乾燥鶏痘ワクチン

(一般的名称：鶏痘生ワクチン(シード))

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、弱毒鶏痘ウイルスボーデット株を SPF 鶏群由来の発育卵で増殖させ、その感染膜尿膜乳剤に安定剤を加えて凍結乾燥したのち、減圧下で封じたものである。

乾燥ワクチンは、淡黄褐色の乾燥物で、日局の精製水を加えて振り混ぜると容易に溶解し、やや混濁した乳灰白色の均質な液体となる。

【成分及び分量】

ワクチン1本(1,000羽分)中

発育鶏卵培養弱毒鶏痘ウイルスボーデット株(シード)	10 ^{6.0} EID ₅₀ 以上
脱脂粉乳	50mg
ペプトン	100mg
ベンジルペニシリンカリウム	300単位
硫酸ストレプトマイシン	300 μ g(力価)

【効能又は効果】

鶏痘の予防

【用法及び用量】

乾燥ワクチンを日局の精製水10mLで溶かしたのち、リカ式ワクチガン(株式会社リカ社製、承認番号：農林水産省指令60畜A第3764号)を用いて鶏の翼膜に約0.01mLずつ穿刺接種する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

[守らなければならないこと]

(一般的注意)

1. 本剤は獣医師の適切な指導の下で使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

(使用者に対する注意)

作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(鶏に関する注意)

1. 本剤の接種前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は接種しないこと。
2. 鶏が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、接種適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・元気消失、食欲不振、発熱、下痢、呼吸器症状等臨床異常が認められるもの。
 - ・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。
 - ・明らかな栄養障害があるもの。
 - ・他の薬剤投与、導入又は移動後間がないもの。
3. 初回と2回目の接種は、翼(左右)をかけて接種すること。
4. 接種後5~7日頃接種鶏の一部について善感発痘の有無を検査すること。その結果、発痘していない場合には再接種すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

1. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
3. 本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。
4. 小児の手の届かないところに保管すること。
5. 直射日光は品質に影響を与えるので避けること。
6. 使用時よく振り混ぜて均一とすること。
7. 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

8. 使用済みの接種用穿刺針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

[使用に際して気を付けること]

(使用者に対する注意)

1. 誤って人に接種した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
鶏痘ウイルス	否	生	無	

本ワクチン株は、人に対する病原性はない。

2. 乾燥ワクチン瓶内は、真空になっており破裂するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
3. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。

(鶏に関する注意)

1. ワクチン接種後は、飼育管理に十分に注意し、鶏に与えるストレスの軽減に努めること。
2. 本剤接種後3日頃から穿刺された翼膜部にワクチンによる善感発痘が見られるが、痘ほうは21日以内には消退する。

(取扱いに関する注意)

1. 溶解は使用直前に行い、溶解後は速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
2. 移行抗体価の高い個体では、ワクチン効果が抑制されることがあるので、接種時期を考慮すること。

(その他の注意)

本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

薬理学的情報等

臨床成績：1県2施設で、4、8、21及び196日齢の採卵鶏を対象に臨床試験を実施した。ワクチンを投与した鶏群はいずれも異常が認められず、ワクチンの安全性が確認された。また、4、8及び196日齢の3鶏群についてそれぞれワクチン投与後5週の鶏を用いて実験感染試験を行ったところ、すべての投与群で発痘抑制効果が認められ、ワクチンの有効性が確認された。

薬効薬理：初生から3週齢の肉用鶏及びSPF鶏群由来ひな、10週齢及び29週齢のSPF鶏群由来鶏それぞれにワクチンを投与し、投与後3～4週に実験感染試験を行ったところ、すべての投与群で発痘抑制効果が認められた。

包 装：1本 1,000羽分

製品情報お問い合わせ先

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

製造販売元：日生研株式会社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記製品情報お問い合わせ先に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。 0000SK00